



テレマティクス技術を活用した 交通安全イベントのご提案 (CO₂排出削減量可視化対応)

2026年7月

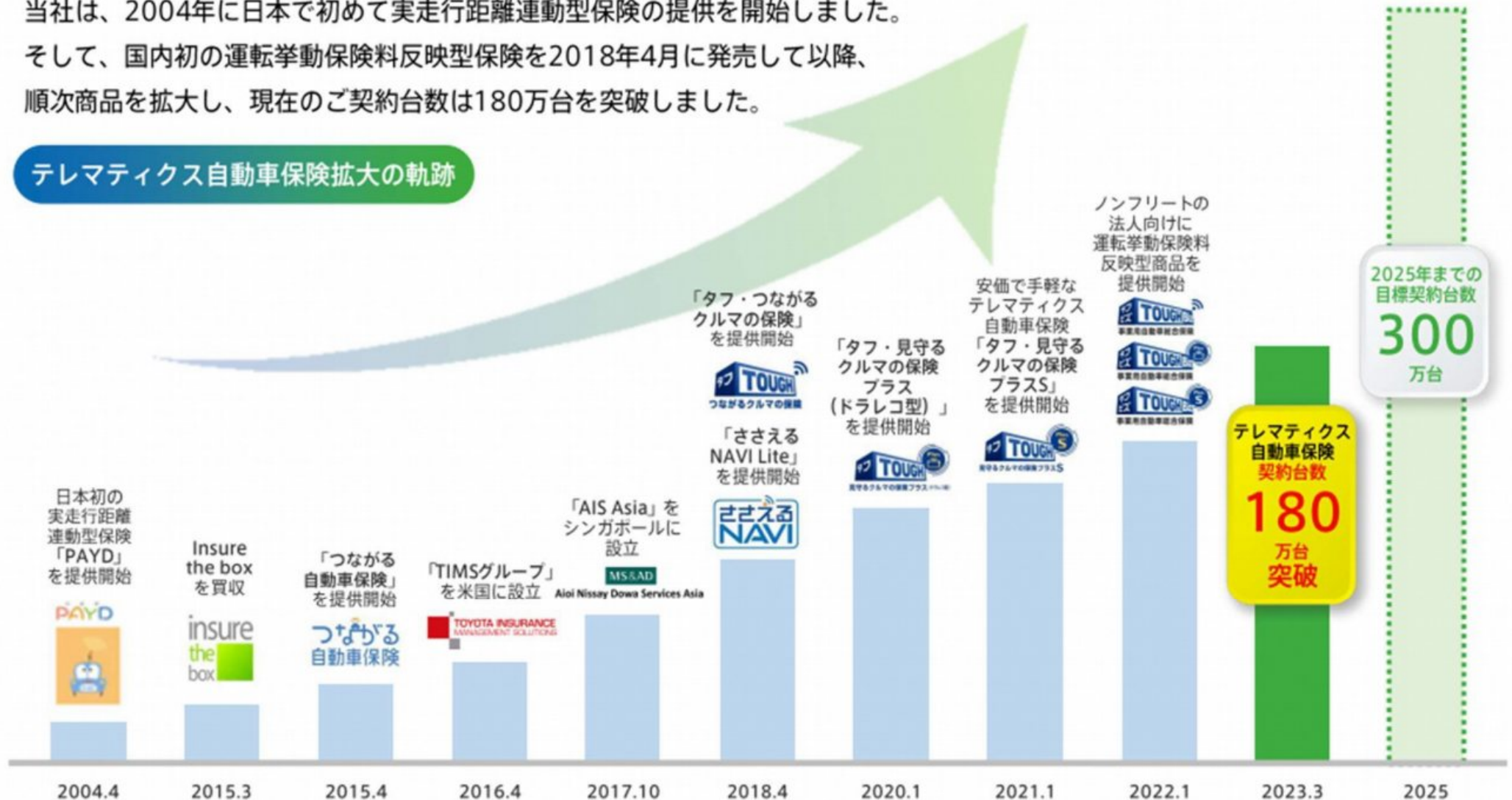
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

1. はじめに（弊社のテレマティクス分野での取組みについて）

当社はテレマティクス自動車保険のパイオニア

当社は、2004年に日本で初めて実走行距離連動型保険の提供を開始しました。
そして、国内初の運転挙動保険料反映型保険を2018年4月に発売して以降、
順次商品を拡大し、現在のご契約台数は180万台を突破しました。

テレマティクス自動車保険拡大の軌跡



2. テレマティクス × 地域密着

弊社の想い

- テレマティクス技術の活用により、安全・安心なクルマ社会の実現に貢献したい
- 協定自治体さまと連携し、未来技術を活用した地域課題解決に取り組みたい



地方自治体の抱える交通課題（例）

課題

交通事故のない安全・安心なまちをつくりたい

課題

地域における次世代モビリティの導入を推進したい



課題解決に向けた地方創生支援メニュー



デジタル × 地方創生

（テレマティクス）

（地域密着）



テレマティクス技術を活用した交通安全イベント

3. イベントの概要



テレマティクスタグとスマートフォンを連動させて、新しい技術で楽しくエコドライブ & 安全運転へ!!

地域の運転危険挙動箇所を把握し、交通安全対策やオンデマンド交通導入に向け活用!

テレマティクスタグを活用した安全運転推進イベント

専用タグの貸出およびスマートフォンアプリをご紹介します

テレマティクス技術を活用したタグと専用アプリ「Visual Drive」を使用することで走行データの収集が可能となります。当イベントにより、地域の運転危険挙動箇所の把握と、オンデマンド交通導入時の走行ルート選定等に役立ちます。



Visual Driveとは？

- テレマティクスタグとスマートフォンを連動させて走行データを取得し、安全運転スコアを提供するスマートフォン用のアプリ
- 運転終了後すぐに運転状況のフィードバックが可能

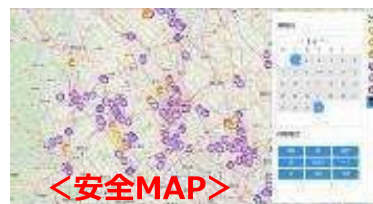
項目	内容
フィードバック	運転スコア・ランキング・急ブレーキ等の時間と場所の特定・安全運転により削減できたCO2排出量 等
取得データ	走行ルート・危険挙動発生箇所

<取組みのすすめ方>

- ・テレマティクス技術を活用したタグを一定期間地域住民の方々に貸し出します
- ・運転状況が診断されるなど楽しみながらイベントに参加していただきます



- ・イベント終了後、収集した走行データに基づき、危険挙動箇所と走行軌跡を地図上にマッピングしてご提供します



ポイント

STEP1：Visual Driveを活用した安全運転推進イベント開催

新しい技術を使った「安全運転」の推進方法について地域住民の皆様に体験していただくイベントを開催します。

【期間】1か月 【タグ費用】無料 【タグ貸出上限】300個

【参加者】個人、個人グループ、法人グループ等

【対象】・自動車免許所有およびスマートフォン（スペック条件あり）を持っている方
・イベントで使用する四輪車両を限定できる方



STEP2：収集されたビックデータの活用

- 当イベントにより収集した走行データや弊社契約者データから収集した運転挙動データを地図上にマッピングし提供します（安全MAP）。当該MAPを確認することで、急ブレーキ多発地点など危険箇所を把握でき街づくりに活用できます。
- 走行軌跡や走行量の把握も可能なため、オンデマンドバス等を導入する際に安全性に考慮したバスの軌道検討や運行範囲の検討等に活用できます。
- 安全運転により削減できたCO2排出量を算出し、参加者・地方公共団体へフィードバックします。

4. スマートフォンアプリ「Visual Drive」について

Visual Driveの特徴

- タグと連動させることにより、手振れなどスマートフォン方式の弱点を克服
- ゲーム感覚で利用者が使いたくなる仕組み

安全運転診断

運転終了後、すぐに利用者へ運転状況をフィードバック

- ・ 走行毎のスコアリング + 急ブレーキ、速度超過運転中のスマートフォン使用データ等を診断
- ・ 利用者の運転状況にあった安全運転のヒントをご提供

楽しく

スコアランキングやバッジ獲得でゲーム感覚を演出

- ・ 参加者の一体感を生み出すグルーピング機能
- ・ スコアランキング上位者への特典による盛り上げを演出

手軽に

専用タグとスマホだけで利用者の走行データを診断

- ・ ダッシュボードへの専用タグ張り付けとスマホが車中にあれば利用可能

NEW CO2削減

安全運転診断に加え、「安全運転によって削減できたCO2排出量」も可視化

- ・ 過去1か月分の「安全運転によって削減できたCO2排出量」や「節約できた燃料消費量」を当社独自のロジックにより算出し利用者へ可視化

地域の皆さまに『楽しみながら客観的に』
安全運転・エコドライブを体感できる絶好の機会を提供します！



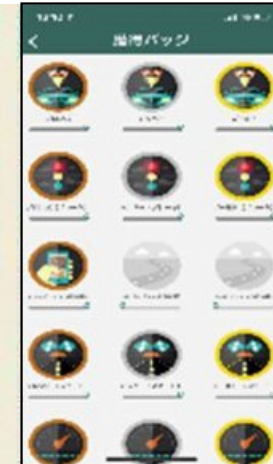
安全運転診断

- ▽ 過去2週間の走行を累計で得点化
- ▽ ランキングで利用者と他の参加者の比較もできます



バッジ獲得

- ▽ 運転特性に応じたバッジを獲得できるので、利用者の運転の得意・不得意がわかります



安全運転のヒント

- ▽ 利用者に応じた運転アドバイスを提供します



CO2排出削減量の可視化

- ▽ 過去1か月分の「安全運転によって削減できたCO2排出量」や「節約できた燃料消費量」を当社独自のロジックにより算出しアプリ上に表示します

- ① 手間なし：アプリのOn/Off不要
- ② スマートフォンは車中のどこにあってOK
- ③ 手振れの心配なし
- ④ 省バッテリー/省データ：一括データ送信

インストールマニュアル
を用意しています

4. スマートフォンアプリ「Visual Drive」について

ご利用イメージ

スマートフォンと車載器（タグ）がBluetooth接続されると、Visual Driveは自動的に運転記録を開始します。

スマートフォン



Bluetooth



車載器（タグ）



【5cm × 5cm】



車両のダッシュボード

● 機能：加速度センサー

- ・ 記録媒体（40時間分の走行データを保存可）
- ・ Bluetooth接続
- ・ リチウムイオンバッテリー

● 裏に両面テープが貼ってあり、誰でも簡単に取付可能

5. テレマティクス技術を活用した交通安全マップのご提供

特徴①： テレマティクス交通安全マップを道路環境改善などのまちづくりに活用できます！

- テレマティクス交通安全マップは、イベントにより収集したデータに基づき、危険挙動箇所を地図上にプロットしてご提供します。
- 急ブレーキ多発地点など危険箇所を把握し、道路環境を改善するなどの交通安全対策への活用が可能です。

イメージ

運転操作に関して取得したデータを地図上にプロット



運転操作に関して取得できる 主なデータ

<取得データの例>

急ブレーキ

急ハンドル

急加速

スマホ使用

速度超過

5. テレマティクス技術を活用した交通安全マップのご提供

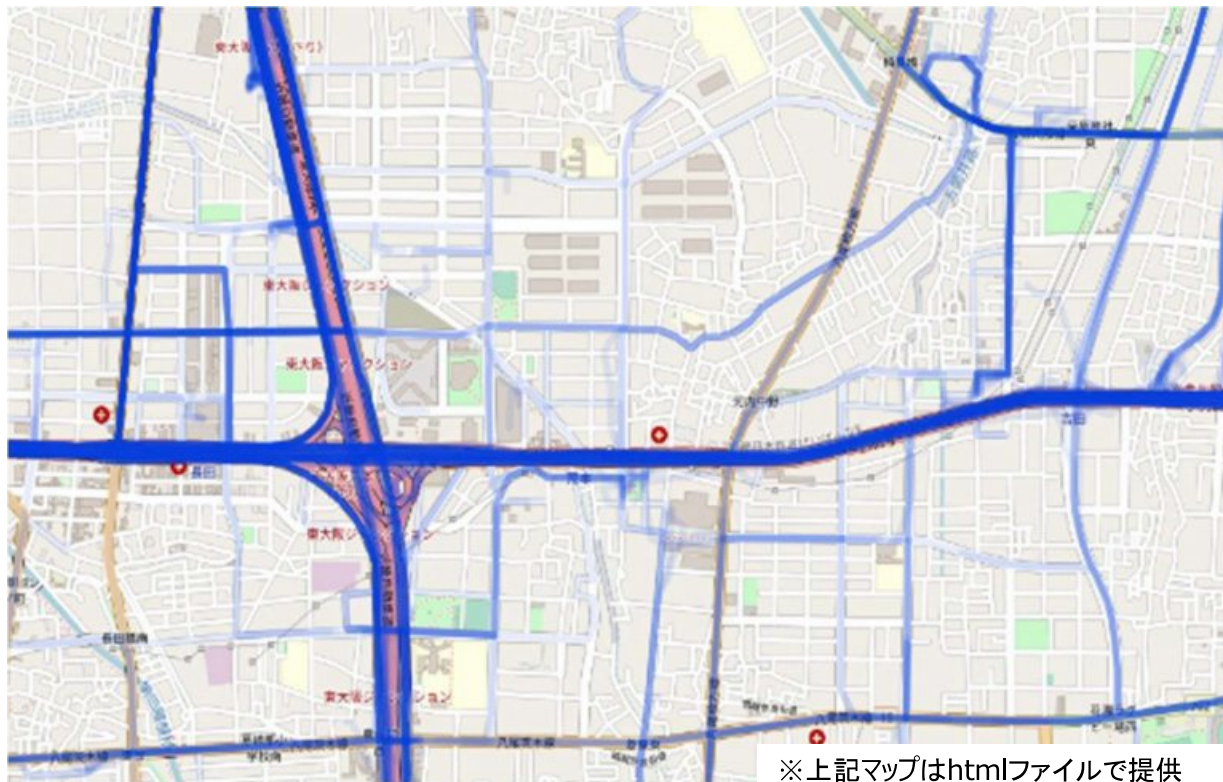


特徴② : 走行量ヒートマップを地域における次世代モビリティ導入に向けた調査等に活用できます！

- イベントにより収集した走行量データや走行ルートデータに基づき、地図上にヒートマップ形式で表示してご提供します。
- オンデマンドバスの走行ルート検討など、次世代モビリティ導入に向けた調査などに活用が可能です。

イメージ

色の濃さによって交通量を可視化
運転操作に関するデータとの同時表示も可能



※上記マップはhtmlファイルで提供

取得できる 主なデータ

＜取得データの例＞

走行量

走行ルート

出発地点

到着地点

6. イベント参加者全体のCO2削減量レポートのご提供



- 安全運転を行ったことによるCO2削減量・燃料節約量を算出し、イベント参加者全体の合計レポートをご提供します。（同じ走行距離を平均的な運転挙動において走行した場合と比較）
- 尚、当社独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで「参考数値」としてご確認ください。



7. <ご参考> 冬のDigi田甲子園2022 内閣総理大臣賞を受賞！



『冬のDigi田甲子園』で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞 ～福井県・福井県警察と取り組んだ 「デジタル（テレマティクス技術）を活用した新たな交通安全対策」～

Digi田甲子園とは？

- デジタルの活用によって地域の個別課題を実際に解決した企業・団体等の事例を募集し、最も優れた事例を『**内閣総理大臣賞**』として表彰する制度
- 令和4年度に創設された制度で、夏は地方自治体、冬は民間企業・団体等を対象に開催
- 令和4年度、あいおいニッセイ同和損保は「冬のDigi田甲子園」において、**172件の応募の中で見事優勝を勝ち取り、岸田文雄内閣総理大臣より表彰を受けました。**

福井県・福井県警との取り組み

- 弊社のテレマティクス技術により県内ドライバー（454名）の運転データを取得し、危険運転発生地点を示す「**福井県交通安全マップ**」を作成・公開
- 取得したデータを活用し、事故実績に基づく事後対応ではなく、危険運転エリアに対する**先手先手の対策を行うことで、事故の未然防止を志向**

<福井県交通安全マップ>



[福井県との取り組みの動画はこちら](#)





エコドライブコンテストにおける「安全運転によるCO2削減量」レポート

エコドライブコンテストの開催、誠にありがとうございました。

走行データを用いて算出させていただきました「CO2排出情報」について、本レポートでご報告させていただきます。

算定対象期間：2025年11月1日～30日

算定対象車両：858台

走行距離 ※1

422051.8
km

燃料消費量
(総量) ※2

29733.3 L

安全運転による

燃料節約量 ※3

2786.4
L

CO2排出量
(総量) ※2

69759.5 kg

安全運転による

CO2削減量 ※3

6282.5
kg-CO₂

※1テレマティクスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行距離を表しています。各種数値は、テレマティクスタグとVisual Driveアプリが接続されている間の走行データのみを対象に算出しています。
(何らかの理由により走行データが取得できていない場合、取得できていない期間の走行は含まれていません。)

※2 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の排出量であり、実際の数値と異なる可能性があります。

※3 ・自動車メーカーが定める「標準燃費」と比較した場合の差分を表しています。(同じ走行距離で平均的な運転を行った場合と比較)

・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の独自の算出方法による推定の節約・削減量であり、実際の数値と異なる可能性があります。あくまで「参考数値」としてご確認ください。

・エアコン等のお車の使用状況は考慮していません。

・標準燃費と比較してCO2排出量・燃料消費量が削減できなかった場合、「－」と表示されます。